

# 令和5年度 府中市立南白糸台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さい「や」「ゆ」「よ」「つ」の書き方や、書く場所の定着が十分でない。</li> <li>・「は」「を」「へ」の理解や、平仮名を正しく書くことが苦手な児童がいる。</li> <li>・話したり聞いたりの一一人の力の差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートのマスビッグパットに映し、例示することで書き方や書く場所の定着を図る。</li> <li>・繰り返し作文や日記を書かせ、その都度指導していく。</li> <li>・聞き方の例や、話し方の話型を示す。</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつといくつ の理解が難しい。</li> <li>・問題文を読み取って考えることが難しい。</li> <li>・答えの書き方や単位の理解が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロックやそろばん等の教具を使い、数の合成分解を視覚的に捉えられるようにする。</li> <li>・問題の場面を図や絵に表し、状況を理解して立式ができるようにする。</li> <li>・ものの数え方を繰り返し指導し、答えを書くことに慣れさせる。</li> </ul>		
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を楽しむことはできているが、気付いたことや思ったことをカードに書いたり、発表したりすることが苦手な児童がいる。</li> <li>・植物の世話など、常時活動に主体的に取り組めない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カードの書き方や発表の仕方を例示して参考にできるようにする。</li> <li>・活動の中で友達と交流できる機会を設定し、相手に自分の考えを伝えられるようにする。</li> <li>・「きれいな花を咲かせたい」という思いをもたせたり、日々の小さな変化にも気付いたりできるように声掛けをしていく。</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の特徴を捉えて聴くことに慣れていない。</li> <li>・リズム打ちの難しい児童がいる。</li> <li>・楽器の扱い方に慣れていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に合わせて体を動かしたり、浮かんだイメージを絵や言葉で表現したりする。</li> <li>・身近な言葉に合わせてリズムを打つ練習をする。</li> <li>・楽器の基本的な扱い方を指導し、楽器に触れる機会を増やして楽器に慣れさせる。</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵や工作に対する興味・関心が高く、意欲的に取り組む児童が多い。</li> <li>・イメージを形にするための表現力が弱い。</li> <li>・はさみやのりなど、用具うまく使うことができない児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の幅が広がるように、具体的な表現技法を指導する。</li> <li>・友達の作品を鑑賞し、感想を交流して表現を共有する時間をもつ。</li> <li>・用具の使い方を丁寧に指導していく。</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝ち負けにこだわり、十分に遊びを楽しめない児童がいる。</li> <li>・ルールや遊び方を理解できず、十分に遊びを楽しめない児童がいる。</li> <li>・遊びの興味の幅が狭く、遊びの経験が浅い児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝ち負けがあるから楽しめる運動があることを繰り返し伝え、勝敗を受け入れられるようにする。</li> <li>・簡単なルールから始めたり、手本を見せたりしながら安心して参加できるようにする。</li> <li>・いろいろな遊びを提案し、遊ぶ機会を増やすことで、遊びに慣れさせる。</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和5年度 府中市立南白糸台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読み取る力に個人差がある。</li> <li>話す意欲はあるが、言葉のキャッチボールをすることが難しい。</li> <li>漢字の読みはできるが、書く力に個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーワードや大事な言葉に線を引くという活動を取り入れる。</li> <li>ペアで話したり、朝のスピーチをしたりする話す活動を今後も積極的に取り入れていく。</li> <li>習った漢字は、使うように普段から繰り返し指導していく。</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章問題を読み取り正しく立式する力が、十分とは言えない。</li> <li>時刻や時間の理解やものさしを用いた測定の仕方が十分に定着していない児童がいる。</li> <li>計算する力に個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章問題からわかること、きかれていることに線を引いて情報を整理する活動や、具体物等で考えさせる活動を十分に取り入れる。</li> <li>日常の中で繰り返し練習をして、定着を図る。</li> <li>すでに学習した計算練習に繰り返し取り組んでいく。</li> </ul>		
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>異学年や地域との関わりをより深めていくことが必要である。</li> <li>課題を積極的に見つけて、解決しようとする力が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生や地域の方との交流を含めた取り組みを計画的に行う。</li> <li>「どうして」「なぜ」という疑問を投げかけ、自分なりに考えられるように指導していく。</li> <li>課題を考えたり、自分なりの結果を発表したりする機会を設定する。</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>鍵盤ハーモニカの技能には個人差があり、演奏を十分に楽しめない児童がいる。</li> <li>合唱・合奏は楽しそうに取り組んでいるが、音程や音階の感覚が十分だとはいえない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙鍵盤等を使用し、音や指番号を確認する。繰り返し練習し、できる部分を増やすようにする。</li> <li>リズム遊びを伴って歌うなど、楽しみながら取り組ませる。</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動への興味・関心が高い児童が多いが、用具の使い方など技能に個人差があり、めあて到達が難しい児童がいる。</li> <li>表現や活動が友達や参考作品を真似るだけに留まってしまっている児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入で教師の模範を示したり、用具に触れる機会を多く設けたりして、安心して活動に取り組めるようにする。</li> <li>材料・用具の紹介や個別の声掛けを重視し、自ら創作することに達成感をえられるようにする</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しんで取り組むが、できないと思っていることは、消極的である。</li> <li>自己の工夫したことや発見したことを伝えることが苦手な児童がいる。</li> <li>各種の運動遊びを楽しむための基本的な動きが身に付いていない児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な経験をさせ、できる喜びを味わせる。</li> <li>学習カードを使用し、意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>体づくり運動を中心に、全身を使った運動遊びを多くさせる。</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和5年度 府中市立南白糸台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）  
第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な学習で、既習漢字を使わないでいる児童がいる。</li> <li>感じたことや考えたことを文章で表現することに個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの教科の学習においても既習漢字を使うように繰り返し指導し、間違い等があれば指摘する。</li> <li>例文や定型文を示し、書き方のポイントをおさえて書く練習をする。</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題場面を正しく理解したり、テープ図等に表したりすることが得意ではない。</li> <li>長さ・量の単位の換算をする力が十分ではない。</li> <li>かけ算九九や既習事項の定着（計算技能）に個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題の大切なところに線を引かせたり、テープ図を使って式を考えさせたりする習慣を身に付けさせる。</li> <li>生活の中も含め、様々な場面で長さや量を意識させ、計算する機会を増やす。</li> <li>授業最初の3分間練習にこれからも九九や四則計算を取り入れていく。</li> </ul>		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠をもとにして、予想を立てることに個人差がある。</li> <li>学習したことを生活と結び付けて考えることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の導入で生活経験を想起させたり、既習事項を振り返ったりして、根拠をもとに予想を立てられるようにする。</li> <li>単元の学習の後には、生活と結び付けて振り返ることができるようにする。</li> </ul>		
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>方位や地図記号の定着に個人差がある。</li> <li>資料から読み取ったり、分かったことを活用したりする力が十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的に方位を使い、基準となるものからの方位を意識させる。</li> <li>地図やグラフ等の資料の見方を繰り返し指導し、定着させる。</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>指先をしっかりと使って、リコーダーの穴をふさぐことが難しい。</li> <li>タンギングや息使いに気を付けて吹くことができない児童がいる。</li> <li>拍を感じる事が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し指先を使って穴をふさぐ練習時間を確保していく。</li> <li>互いに演奏して聴き合う活動を増やし、音色の違いに気付けるようにしていく。</li> <li>リズム活動を取り入れながら、拍感もてるようにしていく。</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい課題に積極的に取り組む姿勢がみられるが、思い通りにいかないとすぐにあきらめてしまう児童がいる。</li> <li>創作に夢中になりすぎて、めあてから外れてしまう児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作りたい気持ちを大切に、思い通りにいかないこともプラスにできるような言葉がけをする。</li> <li>友達の作品を参考にし、自分の作品にも取り入れるなど、視野を広げた創作ができるようにする。</li> <li>作品がめあて合った創作か確認する時間をとる。</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動への意欲に個人差がある。</li> <li>コロナの影響で、低学年の時に十分に経験していない運動がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦手な児童も楽しめるように規則を工夫する。</li> <li>技能のポイントを意識して指導する。</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和5年度 府中市立南白糸台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）  
第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の漢字が書けない児童が多く、定着していない。</li> <li>語彙が少なく、言葉の意味を理解していない。</li> <li>要旨を理解することはできるが、要約として文章にまとめることが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習した漢字を使用するよう、繰り返し指導し、書けていない字は書き直すなどして意識を高めていく。</li> <li>タブレットや辞書を活用し、言葉の意味を理解した上で、文章を読み取ることができるように指導する。</li> <li>手本をもとにしたり、型をあてはめたりしながら繰り返し文章を書く練習をする。</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題場面を文章から正しく理解したり、図に表したりすることが得意ではない。</li> <li>□や△を使った式を考える力が十分ではない。</li> <li>既習事項の計算技能(3けた×2けた)の定着が十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題の大切なところに線を引かせたり、図を使って式を考えさせたりする習慣を身に付けさせる。</li> <li>言葉の式を考えたり、式の意味を考える場面を増やしたりして、立式の経験を積むようにする。</li> <li>授業最初の3分間練習で、前学年までの計算の定着を図る。</li> </ul>		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察・実験結果を基に的確に考察する力が弱い。</li> <li>観察・実験結果から知識への定着を図る力が弱い。</li> <li>ノートへの記録や学習を普段の生活や次の学習に役立てる力が十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の立てた予想を基に、既習事項や生活経験と関連付けながら考察する力を身に付けさせる。</li> <li>単元のまとめをしっかり行い、知識の定着を図る。</li> <li>手本となる児童のノートを提示したり、自主学習として調べ学習などで学びが広がるような環境を設定する。</li> </ul>		
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を読み取ったり活用したりして、それに対する自分の考えをもつことが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図やグラフ等の資料の基本的な見方を丁寧に指導し、定着させる。</li> <li>資料から読み取って分かったことをまとめる活動を通して、自分の考えをもつ力を身に付ける。</li> <li>資料によって得られる情報が異なることを理解させる。</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>胸式呼吸で歌う児童が多い。</li> <li>高音域でも地声で歌ってしまう。</li> <li>読譜能力に欠ける児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>腹式呼吸の仕方が身に付けられるように、歌唱前に呼吸の確認をしていく。</li> <li>高音域の部分を取り出して、裏声で歌う練習に取り組ませる。</li> <li>音符やリズムが理解できるように、フラッシュカードを使用しながら、読譜能力を上げていく。</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の興味の強いことにこだわり、めあてから活動がそれてしまう児童がいる。</li> <li>課題や作品に対して、自分事として深く掘り下げて考えたり表したりすることが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてを明確にした上で、ICTを活用するなどして道具や材料について知識理解を深め、目的意識をもって課題に取り組めるようにする。</li> <li>児童の意欲や思いを大切に、個々の習熟にあった声かけや指導を行い達成感を味わえるようにする。</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の特性に触れ、楽しむことができていない。</li> <li>ボールを扱うための技能の差がかなりある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特性を指導者が理解し、特性に触れさせて運動を楽しむことができるようにする。</li> <li>体づくり等でボールの投げ方などのボールの扱い方を知識として理解したうえで、ゲームに生かせるように指導する。</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和5年度 府中市立南白糸台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）  
第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>文を書くときに習った漢字で書かない児童がほとんどである。</li> <li>文章中から筆者の主張を読み取り、要旨をまとめることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>習った漢字で書いていない場合は、書き直させるなどして漢字で書く意識を高めていく。</li> <li>文章の構成を捉え、筆者の考えが書かれているところや繰り返し出てくる言葉を見つけながら読む。</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しく立式したり、考えを順序立てて、説明したりする力が十分ではない。</li> <li>乗算・除算の定着に個人差が大きい。</li> <li>角度を計算で求めることが苦手な児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4マス表や数直線を使って立式させたり、説明の仕方を学ばせ、ノートに自分の考えを言葉、図、式等を使って表現する機会を多く取り入れたりする。</li> <li>授業最初に乗算・除算中心の3分間計算練習の時間を設定したり、コースの実態に応じて補充プリントを用意し、取り組ませたりする。</li> <li>直角や2直角を意識させる機会を増やし、内角、外角の関係をつかむようにする。</li> </ul>		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験に取り組む意欲が高く、アイデアも豊富だが、得られた結果から考える力に大きく個人差がある。</li> <li>自然現象を関連付ける力が乏しい。単発で覚えようとする児童が多く、まとめることが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考察の際に、結果から分かることをスモールステップで考えさせる。</li> <li>自然現象や各実験のつながりを意識させ、関連付けて理解できるように板書したり、まとめさせたりする。</li> </ul>		
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料から必要な情報を読み取ることが苦手である。</li> <li>気候や地形の特色と産業を関連付けて考え、自分の考えをもつことが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラフなどの資料から必要な情報を読み取る見方を丁寧に指導し、定着させる。</li> <li>友達の意見も参考にし、自分の考えをもつ力を身につけさせる。</li> <li>既習の都道府県や地形の特色は復習を重ね、習得させる。</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱時に身体を上手く使うことができないため、遠くまで響く声で歌うことが難しい。</li> <li>読譜能力に欠ける児童が多い。</li> <li>拍を感じながら演奏することが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>腹式呼吸を意識させるために、歌唱前には呼吸の練習をして慣らしていく。</li> <li>音符やリズムが理解できるように、フラッシュカードを使用しながら、読譜能力を上げていく。</li> <li>曲に合わせて指揮をしたり、身体を動かしたりする活動を増やし、拍感がもてるようにする。</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の興味の強いことにこだわりめあてから逸れてしまう児童もあり、知識・技能の定着に個人差がみられる。</li> <li>授業に臨む態度として、話を聞く姿勢や忘れ物に対して意識が薄い児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用するなどして道具や材料について知識理解を深め、目的意識をもって課題に取り組めるようにする。</li> <li>作品づくりや安全にかかわることを理解できるような声かけをし、自主性を育てる指導を継続して行う。</li> </ul>		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭の仕事に目を向け、自分でできることを増やすことを目標に学習に取り組んできている。</li> <li>作業の個人差が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習のめあてを明確にする。</li> <li>学習ごとのふり返りを確実にし、個々が成果と課題をもてるようにする。</li> <li>課題を調整する。</li> <li>自分の考えや思いを発表し合う活動を通して、さらに考えを深めたり、自分の表現に生かしたりする。</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>体を動かすことが好きな児童は多いが、課題をもって運動に取り組む児童は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器を活用したり、ペアやグループの活動を取り入れたりすることで、自分の動きを確認し課題を見つけて解決できるようにする。</li> </ul>		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語を理解しようとすることをあきらめてしまう児童と、授業内容に前向きな児童の差がある。</li> <li>コミュニケーションに対してのハードルを感じている児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の基本指示を、英語で行うようにする。よく聞けば、意味が分かるという経験をさせるために、発問をよく練り、価値付けしながら授業を行う。</li> <li>アクティビティを用いて、児童間で英語でのコミュニケーションを増やすことから始める。</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和5年度 府中市立南白糸台小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）  
第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 語句の意味や使い方の理解が不十分である。</li> <li>・ 事実と感想、意見とを区別して書いたり、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることが難しい。</li> <li>・ 文章全体の構成を捉えて要旨を把握する力が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中、一人1冊辞書を手元に用意させ、語句を調べられるようにする。また、読書の機会を設ける。</li> <li>・ 説明的文章を参考にし、経験や根拠となることを用いながら、文末表現に注意して書けるよう指導する。</li> <li>・ 構成メモを書く活動を通して、文章中から事実と感想、意見を正しくとらえられるようにする。</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章題をよく読まなかったり、理解することが難しかったりする児童が多く、正しく立式できないことが多い。</li> <li>・ 割合の計算に苦手意識をもつ児童が多い。</li> <li>・ 小数や分数などの計算力の個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題解決につながる言葉や数字に着目し、考えていく習慣をつける。また、立式のために数直線を積極的に活用する。</li> <li>・ もとにする量を1と考え、数直線を有効に使うことを定着させる。</li> <li>・ 授業最初に前学年の内容で3分間計算練習の時間を設定したり、コースの実態に応じて、補充プリントを用意し、取り組ませたりする。</li> </ul>		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実験に取り組む意欲が高く、アイデアも豊富だが、得られた結果から考察する力に大きく個人差がある。</li> <li>・ 各自然現象を関連付けられる力が乏しく、体系的に理解できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考察の際に、結果から分かることを分割して書かせ、それをまとめて考察・結論とさせる。</li> <li>・ 自然現象や各実験のつながりを意識させ、関連付けて理解できるように板書したり、まとめさせたりする。</li> </ul>		
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料を見て自分の考えをもつのが難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政治や歴史においては、人々が何に悩み、何を願ってどう行動したのかを想像して考える時間を設ける</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体的に読譜能力に欠ける児童が多い。</li> <li>・ 腹式呼吸が身につけていないことから、のびのびとした声で歌うことが難しい。</li> <li>・ 鑑賞のポイントを絞って聴く能力が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音符やリズムが理解できるように、フラッシュカードを使用しながら、読譜能力を上げていく。</li> <li>・ 歌唱前には腹式呼吸の確認をして、定着できるように繰り返し指導をしていく。</li> <li>・ 音楽の仕組みについて意識できるように、掲示物を活用しながら鑑賞に取り組ませていく。</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周囲の目を気にする児童も多く、自ら課題を見付けたり、自由に発想したりする意欲や実行していくことが難しい。</li> <li>・ 見通しをもって活動することや作品をより良くしようとするに個人差がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スモールステップを増やし、個々の達成感や満足度を高める。</li> <li>・ ICTを活用するなどして道具や材料について知識理解を深め、目的意識をもって課題に取り組めるようにする。</li> <li>・ 材料に触れることを通して、幅広い表現と出会い自ら発想や構想を深めていける環境をつくる。</li> </ul>		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭の仕事でできることを生かし、家族の一員としての意識を高めることを目標に学習に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習のめあてを明確にし、随時確認させる。</li> <li>・ 生活に生かせる学びを見つけて、ふり返りの記録を積み重ねていく。</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動ができる児童とできない児童との差がある。男子は、鉄棒などの器械・器具の運動が苦手。女子は、ボールを使った運動が苦手。</li> <li>・ 目標をもって取り組む力が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 準備運動の際に、全身を使った運動を行う。鉄網や上り棒、雲梯などを使用する。ボール運動の際には、得意な児童は苦手な児童に教えるなど、積極的にかかわるようにさせる。</li> <li>・ 振り返りカードを生かす。ICTなども活用し、目的をもって取り組ませたい。</li> </ul>		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国語を理解しようとするのをあきらめてしまう児童と、授業内容に前向きな児童の差がある。</li> <li>・ コミュニケーションに対してのハードルを感じている児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の基本指示を、英語で行うようにする。よく聞けば、意味が分かるという経験をさせるために、発問をよく練り、価値付けしながら授業を行う。</li> <li>・ アクティビティーを用いて、児童間で英語でのコミュニケーションを増やすことから始める。</li> </ul>		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。